

サイコ4 (1990)

PSYCHO IV: THE BEGINNING

メディア TVM

ジャンル サスペンス ミステリー

製作国 アメリカ

時間 96分

公開情報 劇場未公開・ビデオ発売

【解説】

ラジオの人気トーク・ショー、今夜のテーマは“母親殺し”。そこへ、今では普通の家庭を築きつつあるノーマンから電話がかかってくる。パーソナリティと心理学者を相手に、自らの過去について語るノーマンだったが、やがて彼は殺人予告までしてしまう……。もはや“アルフレッド・ヒッチコックの「サイコ」”ではなく、“アンソニー・パーキンスの「サイコ」”となった、シリーズ第4弾。さすがにネタがつきたのか、“The Beginning”の副原題が示すようにノーマン・ベイツのルーツにスポットを当て、1作目の脚本家J・ステファノが、いかにしてノーマンがサイコとなったかを暴く。ただしそれを、電話相談で身上話を語らせるという安直な方法で展開させているのはいただけない。若きノーマン・ベイツを「E.T.」のエリオット少年からかなり成長したH・トーマス、伝説の“母”の生前を「ロミオとジュリエット」のジュリエットからかなり老けたO・ハッセーが演じている事が最大の衝撃。意味ありげなラストではあるが、肝心のA・パーキンスが死去したため、このシリーズも（多分）終わりであろう。合掌。

【クレジット】

監督	ミック・ギャリス	Mick Garris	
製作	ジョージ・ザルーム	George Zaloom	
	レス・メイフィールド	Les Mayfield	
製作総指揮	ヒルトン・A・グリーン	Hilton A. Green	
キャラクター創造	ロバート・ブロック	Robert Bloch	
脚本	ジョセフ・ステファノ	Joseph Stefano	
撮影	ロドニー・チャーターズ	Rodney Charters	
編集	チャールズ・ボーンスタイン	Charles Bornstein	
音楽	グレーム・レヴェル	Graeme Revell	
オリジナル音楽	バーナード・ハーマン	Bernard Herrmann	
出演	アンソニー・パーキンス	Anthony Perkins	ノーマン・ベイツ
	ヘンリー・トーマス	Henry Thomas	若き日のノーマン・ベイツ
	オリヴィア・ハッセー	Olivia Hussey	ノーマ・ベイツ
	CCH・パウダー	CCH Pounder	フラン・アンブローズ
	ウォーレン・フロスト	Warren Frost	Dr. レオ・リッチモンド
	ドナ・ミッチェル	Donna Mitchell	コニー・ベイツ
	トーマス・シャスター	Thomas Schuster	チェット・ルドルフ
	シャレン・カミール	Sharen Camille	ホリー
	ボビ・エヴォース	Bobbi Evors	グロリア
	ジョン・ランディス	John Landis	